

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科※ 知能化機械システム講座
(※改組により平成30年4月発足)
3. 専門分野 人間支援メカトロニクスとその関連分野
医療・福祉や農業・製造業に携わる人々を支援する諸研究分野において必要とされる、センシング・AI等の知能化技術、移動体制御技術、人間工学関連技術等の発展に寄与する研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学部) メカトロニクス通論Ⅰ、同Ⅳ、物理学実験、実習補助、各種セミナー、卒業研究の指導・補助など
(大学院) 各種セミナー、修士論文の指導補助など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または採用予定日までに取得見込みであること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持ち、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 平成30年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制(再任回数に制限はありません)
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1*による。)
(2)研究業績書(本学所定の様式2*による。)研究業績は、①学術誌論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3)主要論文3編(コピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1,000字程度)
(5)教育に対する抱負(1,000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注) *印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 平成29年10月31日(火)必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先 (1)提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 松本 真一
※封筒の表に「知能メカトロニクス学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。応募書類は返却しません。
(2)問合せ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科長 磯田 陽次
TEL:0184-27-2941(ダイヤルイン) E-mail:isota@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
(女性活躍推進行動計画:<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/joseikatsuyaku.pdf>)
(子育て支援等行動計画:<http://www.akita-pu.ac.jp/kosodate/kosodate.pdf>)

今回の公募で求める人材像

平成 30 年度 4 月に発足する知能メカトロニクス学科・知能化機械システム講座では、今後強化すべき人間支援メカトロニクス研究分野において必要とされる、センシング・AI 等の知能化技術、移動体制御技術、人間工学関連技術等の発展に寄与する教育、研究、地域資源活用、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

昨今、介護人材不足への有力な対応策として介護ロボットの開発・配備が急速に進んでいるように、ものづくり側の産業界では、人間とのインタラクションが前提となる知能メカトロニクス分野で活躍できる人材の養成が急務です。ハード製作のためには設計製図から、ソフト開発のためにはコンピュータリテラシーから、高い到達目標を意識しつつも基礎から充実した教育が必要です。また各学年におけるプロジェクトベースラーニングを意識したメカトロニクス通論の指導にも取り組める人材を求めます。

[研究]

人間支援メカトロニクス研究グループでは、個人のニーズに対応した各種の支援システムの研究開発を行っており、具体的には、①次世代自動車や運転支援システム、②人に優しい知能化技術、③細胞の機能改変システム、④農業・医療・福祉機器の要素技術等の研究開発に取り組んでいます。これらソフト・ハード両面の能力が必要な人間支援メカトロニクス機器の研究開発の幅をさらに広げ、あるいはそれらを評価する人間工学分野におけるテーマに意欲的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

秋田県においては、農工連携・医工連携・福祉介護・人口減少下でのモビリティ確保といった課題への対応が求められており、メカトロニクス技術と知能化技術を用いて、生活の様々なシーンにおけるヒューマンフレンドリーな人間支援技術の研究開発がますます重要となっています。具体的には、農業・医療・福祉機器用センシング技術の開発、AI 活用による機器の高機能化、個人に対応した移動支援システムの開発等です。これらの分野において、地域のニーズとシーズに対応できる人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

H30年度 知能メカトロニクス学科 大講座・グループ構成(予定)

別紙2

機械工学と電子工学に関する専門知識を有し、機械・電子・通信などの分野を融合したメカトロニクスをシステム思考に基づいて設計・開発でき、日本や地域の将来の産業に貢献できる実践的な技術者を育成する

応用制御システム講座

●計測通信制御システム研究グループ

通信システム工学、制御工学、応用電磁工学

電子材料デバイス講座

●先進物性デバイス研究グループ

電子材料・物性工学、光・電子デバイス工学

知能化機械システム講座

●ロボット・メカシステム研究グループ

ロボット工学、メカシステム、自動制御系

●人間支援メカトロニクス研究グループ

生活支援工学、人工生体機構、脳情報工学